

CN

CampusNOW

No.
101
2020.10.2

発行／鶴見大学
鶴見大学短期大学部
編集／総務課

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
<https://www.tsurumi-u.ac.jp>

学校法人 総持学園

鶴見大学

大学院 歯学研究科（博士課程）歯学専攻
文学研究科（博士前期・後期課程）
日本文学専攻・英米文学専攻・
文化財学専攻・ドキュメンテーション専攻
歯学部 歯学科
文学部 日本文学科・英語英米文学科・
文化財学科・ドキュメンテーション学科

鶴見大学短期大学部

保育科
歯科衛生科
専攻科 保育専攻・福祉専攻

鶴見大学附属中学校・高等学校

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

CONTENTS

特集

新しい時代の歯科医師育成の転機に 予防歯科の未知なるフィールドを開拓

コロナ禍を乗り越えて オンライン授業から見えてきたもの

私のおうち時間 過ごした日々、気付いたこと

コロナを機に支援の形は変わりましたが、支えたい気持ちは変わりません。

父母会だより

新しい時代の

歯科医師育成の転機に

予防歯科の未知なるフィールドを開拓

NAVIGATOR

歯学部歯学科 探索歯学講座
はなだ のぶひろ
花田 信弘教授

人々の日常が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて一変した2020年。

歯科の世界もまた、「新型コロナウイルス感染症問題」は切っても切り離せない、切実なテーマになっている。

長年にわたり、歯周病と口内細菌や毒性物質の仕組み解明や生活習慣病との関連など学際領域の研究を続けてきた、鶴見大学 歯学部 探索歯学講座の花田信弘教授に話を聞いた。

患者さんの人生の伴走者になる

花田教授の専門分野は「探索歯学講座」である。初めて耳にする言葉だったので、どのような研究分野なのか聞いてみた。

「探索歯学は、英語では『Translational Research(トランスレーショナル・リサーチ)』です。つまり『基礎と臨床の懸け橋』、『医学と歯学の懸け橋』という意味合いです。異なる領域をつないで関連づける必要性から生まれたものです。アメリカでは20年くらい前から始まっている分野です。私が学生に教えているのは衛生学(公衆衛生学)になりますが、『口腔と全身の健康』や『口腔ケアと新型コロナウイルス感染症』など、歯科と外の世界との

学際領域での研究を行っています」

新型コロナウイルス感染症が日常生活のありようを大きく変えてしまったいま、人々の心身に与える影響も少なくない。「食事や睡眠が不規則になり、生活のリズムがつかれない」「心が内向きになり、ストレスを感じる」など、多くの人が新しい生活様式にとまどいや不安を感じている現状が浮かび上がる。学生たちは、何を目標に前へ進んでいったらよいのだろうか。

「新しい時代の歯科医を目指してもらいたいですね。結局、内科の先生は、病気が疑われる人やすでに罹患されている方が対象になります。歯科の場合は、日常を健康におくっている大勢の方々がクリニックの門をたたきます。私たちが生

活習慣病に罹らないようにするためには、予防歯科が基本になります。さらに口腔ケアを定期的に行うのはもちろんのこと、栄養バランスのよい食事が欠かせないし、栄養をとるためには、よく噛めないといけないわけです。これからの歯科医は、悪いところを治療しておしまいではなく、患者さん一人ひとりの健康長寿に向き合う姿勢が求められます。鶴見大学歯学部卒業生には、先陣を切って新しい時代の歯科医師像を築いていてもらいたいです。

新型コロナウイルス感染症が広がったことは不運ですが、歯学を専攻する学生にとってみれば、貴重な経験になると思っています。ポストコロナの時代に、患者さんの声に耳を傾け、指導していく

立場になるわけですから。いま起こっている事象を学び、記憶し、今後に生かすことが大切です。

予防歯科のプロフェッショナルに必要な条件は何か。それは口腔ケアを通して5年、10年、20年後と、患者さんがどのような健康状態なのか見極め、プロは先を読み、次なる一手を打てるということです。私たちは、患者さん一人ひとりのライフサイクルを見据え、歯科医療者であると同時に、歯とからだの健康な状態が長く続くように見守る良きアドバイザーでなくてはなりません。

これまでも生活習慣病対策の教育はしてきましたが、感染症を含めた教育までは行き届いていませんでした。感染予防も無論大事ですが、感染しても負けないからだづくりも重要なのです」

悪玉菌が重篤な病を誘引する

新型コロナウイルス感染症の陽性者で症状が重くなるのは、基礎疾患のある人、高齢者が圧倒的に多い。基礎疾患と高齢者に共通するものは何かというと、からだの中に酸化ストレスが多く生じると、活性酸素が増えて「からださがびている状態」になる。この酸化ストレスがどこから来ているのかというと、エンドトキシン(LPS)という歯周病菌に含まれる毒性物質の存在ぬきには考えられない。

「日本人の8割が歯周病を罹患しています。歯周病になると、細菌や毒性物質が血管から全身に拡散します。米国の報告では、歯磨き停止状態で56%の若者がエンドトキシン血症を発症しました。エンドトキシン血症とは、新型コロナウイルス感染症の重症化に関わる細菌の毒性物質LPSが血液から検出された病態のことです。しかし、その後の口腔清掃により回復しています。

別の報告では、歯周病患者は食べ物を噛むだけで最大40%がエンドトキシン血症を起こしました。また、虫歯菌や歯周病菌などの悪玉細菌が血液にのって全身をめぐる様々な血管の部位で悪さをすると、歯周病が原因で歯周病やエンドトキシン血症を発症している人に新型コロナウイルスが感染すると、免疫暴走(サイトカインストーム)の危険性が増加します。

歯と口の細菌や毒性物質は、循環器、呼吸器、消化器の3方向へ拡散し、ほぼすべての臓器に慢性炎症を起こします。平時ではそれが生活習慣病の危険因子ですが、新型コロナウイルス感染症に罹患などの緊急時では免疫暴走を誘引し、細菌性肺炎あるいは敗血症(感染症による死亡につながる重大な臓器障害)の危険因子になります。常日頃から歯と口の健康維持の重要性を理解し、歯血症とエンドトキシン血症を予防し、新型コロナウイルス感染症に備え、防御することが大切です」

効果改善が顕著な新しい試み

鶴見大学歯学部附属病院には、全身的な健康を維持する上で、人々の口内環境の改善に特化したユニークな外来がある。

「3DS除菌外来をやっています。3DS(Dental Drug Delivery System)とは、一人ひとりの歯型に合わせてつくったマウスピースのようなトレーの内側に殺菌剤を塗って、歯に装着します(前ページ写真机上)。朝夕の一日2回各5分ほどの装着で、常在菌を残して、悪玉菌を減らしてくれる画期的なものです。虫歯や歯周病の予防をはじめ、歯原性歯血症の予防にも効果を発揮します。歯血症が疑われる場合には血管年齢を調べますが、口腔ケアをしていない人は50歳ですでに90歳の血管だったりします。患者さんには3DSを実施するにあたり、保健指導のなかで栄養面でのサポートも行っています。

なぜそのようなサポートを行うのかというと、歯の疾患に加えて、栄養、運動、休息といった健康を支える基本要素がうまく機能していないケースが多いからです。喫煙や過剰なアルコール摂取を

控えることは言うまでもありません。また、高齢者は歯がないと、やわらかい食べ物だけを口にしてしまいます。とりわけ炭水化物に偏りがちです。低栄養状態は歯の疾患を悪化させることにもつながります。栄養素としてタンパク質やビタミン、ミネラルも必要ですし、抗酸化作用のある生野菜は、歯がないと食べられません。入れ歯でも、インプラントでもいいんです。患者さんの置かれた状況に合わせて、適切な予防や治療、指導をトータルに行っています。

運動に関しても、万歩計を身につけて一日1万歩を目標に歩いてもらうとか、生活面でのアドバイスをを行いながら、血管年齢を若返らせる外来をやってきました。歯科にとどまらず、からだ全身に目を配った生活習慣病対策として考えついたものですが、新型コロナウイルス感染症などの感染症に負けないための外来でもあるのかなと改めて気づかされました」

現在、自由診療の3DSと健康指導も含めたトータルケアが保険適用となれば、全国の歯科医院で予防歯科の重要性が再認識されるだろうと花田教授は話す。そのために口腔内細菌と生活習慣病の研究を重ね、エビデンスを積み上げるなどバックアップ体制の充実に力を注ぐ。さらに、いわゆる40歳以上の「メタボ健診」のように、特定健診のなかに「歯科」を組み入れることも視野に入れている。

われわれ生活者も、「虫歯や歯周病の治療を受ける場所」から、「病気に負けないからだづくりを目指す場所」へと歯科クリニックの認識を新たにする時期来到いと言えよう。予防医学における歯学の果たす役割は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、今後ますます重要性を増してくる。



花田教授の著書『歯周病が寿命を縮める』(法研刊)には、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、がんなどの生活習慣病と歯周病との関係や3DSのこと、どのように血管を若返らせるかなどわかりやすく書かれている。

オンライン授業から見てきたもの

緊急事態宣言で不要不急の外出禁止。無人のキャンパス。異例の新学年スタートでした。コロナ禍を乗り越えたオンライン授業。教員と学生の奮闘と工夫を各学部学科から聞きました。



教員の手応えは学生に届いたか

文学部英語英米文学科

鈴木 周太郎准教授

文学部の遠隔授業はmanabaという学習支援システムを中心に使いました。出欠の確認や教員や学科の連絡事項も、主にmanabaを通してしています。

遠隔授業は同時双方向型ライブ授業と、映像や資料をmanabaなどにアップロードして、学生がアクセスするオンデマンド型ですが、学生アンケートの結果、通信環境の問題で全授業のライブ配信は難しく、オンデマンド型を中心としました。

私は同時双方向型ライブ授業を行いました。試行錯誤の連続で、4、5回目の授業からTeamsを使ったリアルタイム授業を録画してMicrosoftのOneDriveにアップロードし、ライブ授業に参加できない学生への対策として、録画をオンデマンドで見られるようしま

した。「授業中うまくノートがとれなくても、繰り返し視聴で整理できた」と熱心な学生に好評でした。

教室では学生の表情から授業の理解、関心がわかりますが、70人のライブ授業では学生の反応はわかりません。何も言わない学生へのフォローが一番の悩みでした。一方で、英語英米文学科は英書の多読に力を入れていますが、本学図書館の電子書籍を使ったオンライン読書は効果がありました。やる気のあるなしで、差がつくことも実感しました。

学生と教員がオンライン授業に慣れ、仕組みがうまく作れば、もっといい授業づくりができるだろう、と教員は手応えを感じていますが、それが学生に届いているか。前期の授業改善アンケートの集計を待っています。



授業の内容に合わせた3方式

短期大学部保育科

片川 智子准教授

これまでmanabaがほとんど使われていなかった保育科では、先生方の教育支援ツールmanabaの勉強から始まりました。授業動画の配信をはじめ、学生への連絡など多彩な機能があり、遠隔授業を進めるにあたって欠かせないシステムでした。

授業の方法は3種類。1つはMicrosoft TeamsやZoomを使った同時双方向の授業です。実技系の科目に多く、歌や身体表現等授業で学んだ成果を学生が自撮りし、eメールを使って提出する科目もありました。

オンデマンド授業は教員がPowerPointなどで授業動画を作成。それを学生がweb上で視聴して、授業を受け、課題提出をしながら授業を進めます。

もう一つはテキストやmanabaに上げた配

布資料に学生がアクセスし、課題に取り組み、提出し、フィードバックしながら展開するものでした。

遠隔授業開始前、1週間お試し期間を設け、授業や学生側の通信環境をチェック。初日のオリエンテーションでは1・2年生350人が一斉にアクセスしたので、一時的にトラブルが発生するなど、予期せぬこともありました。

学生には時間割を意識して授業を受けるように指導しました。自分の時間で課題に取り掛かれるので、中には期待以上のレポートを提出した学生もいて、想定外のリモート授業の効果も感じました。改めて対面授業のよさにも気づき、対面授業とリモート授業のよさを合わせたハイブリットな授業もこれから生まれるでしょうか。



オンデマンド方式に統一して

短期大学部歯科衛生科

藤原 久子准教授

歯科衛生科では4月7日の緊急事態宣言後、文部科学省から出された指針に合わせてオンライン授業の準備を進めました。

歯科衛生科ではこれまでも講義にPowerPointを使うことが多く、それを作り直して、音声吹き込み、オンデマンドで配信する方法を選びました。双方向対面式は1学年150人の歯科衛生科では対応が難しく、学生には授業から1週間の間に講義にアクセスをして、各回課題を提出するように指導しました。

4月半ばに、学生に向けて、manabaを使ってアンケートをとり、Wi-Fi環境や操作などの不明点を調べました。講義にはPC使用が望ましかったのですが、PC所有者は少なく、スマートフォンを含むアクセスは100%。携帯大手3社の学生のデータ通信無料化もあり、

遠隔授業に踏み切りました。5月初めに学生のアクセス確認を行い、1回もアクセスのない学生には、歯科衛生科から電話で促しました。

講義は70～80分の動画を配信し、最後にmanaba上で確認テストを行いました。また、課題は学生各自で印刷して解答を記入、それをスマートフォンで撮影し、manabaに送信して提出しました。学生の視聴は、manaba上で行った出席確認や、動画へのアクセス時間を見ることで確認しました。

意外だった事は、オンデマンド授業ではスライド—特に病態写真—が対面授業よりもクリアに見えると評判だったことです。そして、大学から学生達へ支給された「学修環境整備支援金」は、遠隔授業をスムーズに進めるために大きく寄与したと思います。

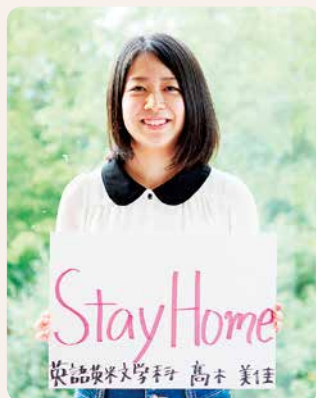


文学部日本文学科3年

尾島 竜明さん

出身校：横浜旭陵高等学校(神奈川県)

ボランティアサークルの活動も自粛となり、もの足りない毎日。非常事態の中、情報に左右されない、一人で不安を抱え込まないなど、教職志望の僕にとって、大切なこと気づくことができました。



文学部英語英米文学科4年

高木 美佳さん

出身校：天理教校学園高等学校(奈良県)

オーストラリアでの語学研修から入国制限ギリギリで日本に戻りました。現地で会った世界中の友人と母国の様子をメールしています。ステイホームをどう過ごすか。この次のスタートに大切です。



文学部文化財学科3年

後藤 風海さん

出身校：暁星国際高等学校(千葉県)

野球部の活動も自粛となり、日々の生活で考えたことは、当たり前だった学生生活、アルバイトは周囲の温かさがあったから。部活動が再開して、与えられた時間を大切にしたいと思います。

私のおうち時間

過ごした日々、気付いたこと

未曾有の事態。かつてない学生生活を強いられた数ヶ月。非日常の中で改めて気づいた大切なこと。新しい自分が見つかりました。



文学部ドキュメンテーション学科3年

鋤柄 雄太朗さん

出身校：藤嶺学園藤沢高等学校(神奈川県)

外出自粛期間中、立ち止まって考える時間ができました。今まで逃げてきたこと、チャレンジしなかったこと。忙しくて、考えなかった自分のこと。就職活動前に振り返れてよかったです。

歯学部歯学科4年

田中 玄基さん

出身校：明治大学付属中野高等学校(東京都)

医療従事者の活躍が報道される中、歯科医師を目指す一人として、責任の重さ、仕事の大切さを改めて感じました。何を専門するか、どういう立場で仕事に向き合うか、真剣に考えました。



短期大学部保育科2年

藤本 磨紀さん

出身校：三浦学苑高等学校(神奈川県)

楽しみだった施設実習も演習に変更となり、子どもたちに会う機会が減ってしまい残念な気持ちでした。自粛期間中は、好きなアーティストのDVDが外出禁止の憂鬱な気分を晴らしてくれました。

短期大学部歯科衛生科3年

河本 莉歩さん(表紙モデル)

出身校：海老名高等学校(神奈川県)

実習が減ってしまい、経験や知識の不足の中での就職はちょっと不安でした。なので、リモート授業の教材を作ってくださった先生方に感謝です。大学での実習がスタートして、少しずつ日常が戻ってきました。





全員集合したキャリア支援課のスタッフ

左から：村田海※、佐野美織※、園麻由子、渡井樹子※、田村直規課長、山下恵美チームリーダー、佐々木千賀子※、工藤奏子、藤川恵※、太田守幸※
※印 キャリアコンサルタント(国家資格)保有

コロナを機に支援の形は変わりましたが、 支えたい気持ちは変わりません。



文学部・短期大学部の学生を対象に実施される新年度オリエンテーションは今春見送られました。学生とキャリア支援課スタッフの顔合わせの機は逃しましたが、電話がけやポータルシステムを通して「電話やメール、オンライン等を使用し、何でも相談してください」とのメッセージを発信し続けています。支援する形は変わっても、常に学生の頼れる存在にと願う、スタッフ一人ひとりの思いは変わりません。

就職活動の新しい様式

田村 残念ながら、従来のように、いつでも自由にキャリア支援課の門を叩けるとい状況ではありません。そんな中にあっても、学生たちの身近な就職サポーターになる



ために、キャリア支援課は新しい試みを重ねてきました。文学部3年生向けの前期就職ガイダンスは動画配信の形をとりました。6月下旬から全8回実施、後半4回は要望の高いインターンシップに関する講座を用意しました。後期のガイダンスはライブ配信を中心に予定しています。また、6月から面接レッスンも対面とオンラインの両方で実施、予約制で随時受け付けています。オンラインでの合同企業説明会の実施やリモートインターンシップ、オンライン面談も新しい時代を反映した試みとなりました。

山下 短期大学部でも、オンライン面接やオンライン見学の話は聞くのですが、実際には多くないようです。保育科や歯科衛生科では、直接、学生が園や歯科医院に赴いて、現場を見ないことには判断がつかませ

ん。保育科については、実習の予定が大幅に変更となり、例年より早く就職活動を始める学生が多いように感じます。

歯科衛生科については、診療時間の短縮や患者様の減少などで新型コロナウイルス感染症の影響を直に受けている歯科医院もあるようです。それにより、大学にいただく求人票は例年に比べ少なくなるかもしれません。

保育科、歯科衛生科とも新型コロナウイルス感染症の影響で実習が取りやめになることもありました。

村田 文学部は、新型コロナウイルス感染症を機に大きく舵を切りました。履歴書の書き方などの指導は4月から遠隔で行って



います。入構禁止の措置がとられたこともあり、PDFで履歴書を送ってもらい、添削したものを返信するなどの対応を行ってきました。その他にも、でき

ることは電話やMicrosoft Teamsを使ってフィードバックしています。遠隔での面談対応もそのひとつです。

やりながら気づくことは、オンラインに慣れていない学生が少なからずいることです。対面であればある程度、身だしなみや気持ちの部分、事前に調べておくことができますが、オンラインでは、そうはいきません。そういう意味では、オンオフを切り替えるマインドをもち、程よい緊張感のもと相手の意図をくんだ受け答えができるかが、大きなポイントになります。

また、業界によっては今後採用が厳しくなることも予想されます。就職活動を先延ばしにしても、来年雇用環境が回復する保障はありません。早めに準備をして、目標を定めたら企業と接点をもつことが重要です。そのため、インターンシップへの参加を今後も強く呼びかけていきたいと考えています。

田村 いまだ就職活動に戸惑っている学生がいます。通常なら授業に出て、友達同士で就職活動の情報交換をし、自分の立ち位置も把握できますが、それができない状況です。一人で不安を抱え込んでいるかもしれません。保護者様宛にも、就職関連情報を発信しながら、お問合せにも対応する旨を伝えています。学生たちが不安を払拭し、社会人としての第一歩を築けるように、キャリア支援課も総力をあげて、この難局に対処していきます。電話、メール、オンライン、何でも結構です。あなたの声を聞かせてください。キャリア支援課の扉は、いつも開かれています。

父母会 だより

今年度の父母会総会については、2020年7月18日(土)の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び保護者の皆様の安全確保の観点から中止とし、総会にて審議を予定しておりました事項については、書面にて7月中旬に全父母会員様に総会資料をご郵送申し上げ、8月14日(金)必着として書面表決書をご返送いただきました。書面議決結果について、右記のとおりご報告申し上げます。

この度は急なお知らせにも関わらず、書面表決書のご返送にご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。今後とも父母会運営へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年度鶴見大学父母会総会 書面議決結果

議決権数 2,615
書面表決数 1,315

【議案】

第1号議案 2019年度収支決算報告 賛成 1,315 反対 0
第2号議案 2020年度父母会役員(案) 賛成 1,315 反対 0
第3号議案 2020年度収支予算(案) 賛成 1,315 反対 0

【結果】

すべての議案について、賛成が議決権数の過半数に達し、鶴見大学父母会会則第13条に基づき可決されました。

2020年度父母会役員

会 長 紅林 尚樹

副 会 長 佐藤 恵子 塩田乃里子 橋本寿美哉

理事総務 伊東いづみ 小林 清美

理事厚生 鹿島 智明 三上 幸代

理事文化 阿由葉佳代子 加賀美裕貴子

理事調査 松原 真理 宮本多佳子

理学会計 平田 鏡好 唐木 成子

評 議 員 阿部 真弓 岩崎 雪代 石澤 薫 上田 義彦 小森 由香 鈴木友美子
田邊 百合 島海 千波 横田 直子 渡部 敦子 大崎 恵美 高畑 昌美
今崎 理恵 山野 律子 清野かおり 鳴鳥 哉子 山田 雅世 赤木荷葉子
熊谷ひろみ 光田 順子 渡辺 敏江 鶴野 裕美 森谷 智恵 渡邊 仁
川井 直樹 山本 直樹 青木 正樹 柄澤 憲彦 寺地 栄恵 飯塚真美子
小竹奈保子 佐藤 薫 小泉江美子 塚本 治恵

会計監査 塩川 延明 柴田 桃子

幹 事 藤澤 文有 竹内 康治 門井昇二郎 鈴木 仁代 守田 真道 前田 憲泰
青池 早苗 田村 直規

2019年度 収支決算書 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

★収入の部 (単位:円)				
科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1.会 費	16,374,000	16,512,000	△ 138,000	@6,000×2,752人(在学生)
2.入 会 金	2,322,000	2,322,000	0	@3,000×774人(入学生)
3.預 金 利 息	0	39	△ 39	
4.前 年 度 繰 越 金	1,399,771	1,399,771	0	
計	20,095,771	20,233,810	△ 138,039	

★支出の部 (単位:円)				
科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1.総 務 部	3,060,000	2,431,560	628,440	
(1)印 刷 通 信 費	440,000	428,718	11,282	総会案内往復はがき・印刷等
(2)慶 弔 費	500,000	117,480	382,520	父母関係香典料、供花等
(3)会 議 費	550,000	475,562	74,438	総会・役員会
(4)式 行 事 補 助 費	570,000	409,800	160,200	入学式・卒業式記念品等
(5)教育振興助成費	1,000,000	1,000,000	0	教育振興支援寄附金援助
2.厚 生 部	4,430,000	4,499,268	△ 69,268	
(1)保 健 衛 生 費	100,000	270,000	△ 170,000	事故見舞等
(2)学生指導対策費	3,330,000	3,229,268	100,732	大学祭援助等
(3)学生厚生補助費	1,000,000	1,000,000	0	大学食堂学生朝食補助
3.文 化 部	3,000,000	3,000,000	0	
(1)図 書 購 入 費	1,000,000	1,000,000	0	学生用教養月刊雑誌等
(2)キャンパスナウ援助費	2,000,000	2,000,000	0	印刷費及び郵送料援助
4.会 計 部	10,000	1,899	8,101	会議配布資料用紙等
5.調 査 部	1,610,000	873,316	736,684	
就職指導研修費	1,610,000	873,316	736,684	就職特別講座、学内企業説明会、就職ガイダンス・インターンシップ、生涯学習セミナー受講支援等補助
6.クラブ活動等援助費	7,890,000	6,964,930	925,070	
(1)課外活動援助費	6,140,000	5,335,900	804,100	公認団体、備品購入、害字体、ボランティア活動援助等
(2)課外活動奨励費	400,000	400,000	0	合宿・遠征援助
(3)運動施設設備補助費	1,350,000	1,229,030	120,970	課外活動施設整備等
7.予 備 費	95,771	0	95,771	
8.翌 年 度 繰 越 金	0	2,462,837	△ 2,462,837	
計	20,095,771	20,233,810	△ 138,039	

2020年度 収支予算書 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

★収入の部 (単位:円)				
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
1.会 費	15,456,000	16,374,000	△ 918,000	@6,000×2,576人(在学生)
2.入 会 金	2,016,000	2,322,000	△ 306,000	@3,000×672人(入学生)
3.預 金 利 息	0	0	0	
4.前 年 度 繰 越 金	2,462,837	1,399,771	1,063,066	
計	19,934,837	20,095,771	△ 160,934	

★支出の部 (単位:円)				
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
1.総 務 部	3,060,000	3,060,000	0	
(1)印 刷 通 信 費	790,000	440,000	350,000	総会資料送付料、印刷代
(2)慶 弔 費	500,000	500,000	0	父母関係香典料、供花等
(3)会 議 費	200,000	550,000	△ 350,000	役員会(12月期)
(4)式 行 事 補 助 費	570,000	570,000	0	入学式・卒業式記念品等
(5)教育振興助成費	1,000,000	1,000,000	0	教育振興支援寄附金援助
2.厚 生 部	4,580,000	4,430,000	150,000	
(1)保 健 衛 生 費	250,000	100,000	150,000	事故見舞等
(2)学生指導対策費	130,000	3,330,000	△ 3,200,000	飲酒・薬物防止講演会等
(3)学生厚生補助費	4,200,000	1,000,000	3,200,000	大学食堂学生朝食補助、学生生活支援費
3.文 化 部	2,900,000	3,000,000	△ 100,000	
(1)図 書 購 入 費	1,000,000	1,000,000	0	学生用教養月刊雑誌等
(2)キャンパスナウ援助費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	印刷費及び郵送料援助
4.会 計 部	10,000	10,000	0	会議配布資料用紙等
5.調 査 部	1,460,000	1,610,000	△ 150,000	
就職指導研修費	1,460,000	1,610,000	△ 150,000	就職特別講座、学内企業説明会、就職支援機器用品費
6.クラブ活動等援助費	7,890,000	7,890,000	0	
(1)課外活動援助費	6,140,000	6,140,000	0	公認団体、備品購入、害字体、ボランティア活動援助等
(2)課外活動奨励費	400,000	400,000	0	合宿・遠征援助
(3)運動施設設備補助費	1,350,000	1,350,000	0	課外活動施設整備等
7.予 備 費	34,837	95,771	△ 60,934	
8.翌 年 度 繰 越 金	0	0	0	
計	19,934,837	20,095,771	△ 160,934	

本学ホームページに『保護者の方へ』を開設しています。是非、ご覧ください。[URL https://www.tsurumi-u.ac.jp/life/5/](https://www.tsurumi-u.ac.jp/life/5/)

新型コロナウイルス感染予防について

新型コロナウイルス感染症については、新規感染者の内訳として20代等の若者層が多いことや、飲食店等における会食の場等を介した感染の広がりが指摘されています。これらの状況から、「新たな日常」に対応した行動をし、感染及び感染拡大の防止に一層注意してください。

- 「バランスの取れた食事」、「十分な睡眠」、「適度な運動」を心がける。
- 「3つの密」を回避する。
- 人と人との距離を保つ。
- マスクを着用する。
- 咳エチケット、手洗い、うがいを徹底し、必要に応じて手指の消毒等を行う。



教育振興支援寄附金募集

鶴見大学は、建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなっています。「鶴見大学教育振興支援寄附金」は、学生が主体的に自らの能力を発揮して地域社会の発展に貢献し、感謝や奉仕の心を学ぶ教育活動に供することを目的とし、募集させていただいております。この趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

個人でのお申し込みは、公式ホームページからも受け付けています。

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/kifu/syui-kojin.html>

鶴見大学 教育振興支援寄附金

検索

◎お問い合わせ先 鶴見大学総務部総務課

電話 045(574)8627 FAX 045(574)8688

Web個別進学相談(常時受付)

ご希望の方は相談日時(Web相談)を調整させていただきますので以下のお問合せ先までご連絡ください。

また、Webではなくお電話での相談も可能です。

申込みはお電話またはWebでできます。

お問合せお待ちしております。

受付期間: (月)~(金)9:00~16:00

(土) 9:00~12:00

お問い合わせ先: 鶴見大学入試センター 電話045(580)8219・8220

鶴見大学 鶴見大学短期大学部 2021年度入試日程

文学部はインターネット出願のみ対応です

出願方法や受付日程、試験内容等の詳細は、募集要項又は本学ホームページにてご確認ください。インターネット出願URL ▶ <https://ientry.tsurumi-u.ac.jp/tsurumi/index.aspx>

入試制度	鶴見大学		鶴見大学短期大学部	
	歯学部	文学部	保育科	歯科衛生科
学校推薦型選抜 (一般公募)	【1期】 11月1日(日) 【2期】 11月29日(日)	11月29日(日)	【1期】 11月15日(日) 【2期】 12月13日(日) ※2期は自己推薦	【1期】 11月15日(日) 【2期】 12月13日(日) ※2期は自己推薦
総合型選抜	———	10月25日(日)	【2期】 10月11日(日) 【3期】 11月8日(日)	【2期】 10月11日(日) 【3期】 3月16日(火)
大学入学共通テスト 利用型 大学入学共通テスト実施日 1月16日(土)・17日(日)	【1期】 【個別試験】 ①1月26日(火)・27日(水) ※いずれか1日選択 ②2月5日(金) ※1/30-31共通テスト受験者対象 【2期】 2月25日(木)・26日(金) ※いずれか1日選択 【3期】 3月17日(水)	個別学力試験なし	———	———
一般選抜	【1期】 1月26日(火)・27日(水) ※両日受験可 【2期】 2月25日(木)・26日(金) ※両日受験可 【3期】 3月17日(水)	【1期】 2月2日(火)・3日(水) ※同一学科の両日受験可 【2期】 2月18日(木) 【3期】 3月10日(水)	2月1日(月)	2月1日(月)
社会人特別選抜	11月29日(日)	2月3日(水)	【1期】 10月11日(日) 【2期】 12月13日(日) 【3期】 2月1日(月)	【1期】 12月13日(日) 【2期】 2月1日(月) 【3期】 3月16日(火)
その他の入試	進路再発見入試 11月29日(日) 外国人留学生特別選抜 【1期】 11月29日(日) 【2期】 3月17日(水) 編入学試験 【1期】 1月27日(水) 【2期】 3月17日(水)	奨学特待生選抜試験 1月29日(金)	———	———

横浜

鶴見大学
鶴見大学短期大学部
Tsurumi University Tsurumi Junior College

ホームページURL <https://www.tsurumi-u.ac.jp>



各種お問い合わせ先

●授業、成績、各種届出などに関すること	文学部教務課	☎045-580-8212
	短期大学部教務課	☎045-580-8322
	歯学部教務課	☎045-580-8203
●奨学金、課外活動、通学証明書、 学割などに関すること	学生支援課	☎045-580-8217
●キャリア・就職支援、求人申込などに関すること	キャリア支援課	☎045-580-8225
●入試情報、オープンキャンパスなどに関すること	入試センター事務局	☎045-580-8219
●健康に関すること・健康診断について	保健センター	☎045-580-8283
●歯学部附属病院に関するお問い合わせ		☎045-580-8503
初診のお問い合わせ	初診科	☎045-580-8540
●広報について	総務課	☎045-574-8627